



## いたずらってどうしていうの

### 「徒ら」ということばからきた

ふざけて、人の困るようなことをすることを、いたずらといいます。悪ふざけともいいます。だれでも、ちょっとしたいたずらは、したことがあるでしょう。

「いたずらな子」とか「いたずらがすぎる」などという言い方をしますね。

大人は、子どものいたずらを、しょうがないなあ、というような顔をして見えていますね。ちょっとしたいたずらなら許されますが、ほかの人が困るいたずらは、しないように気をつけましょう。

いたずらは、漢字で「悪戯」と書きます。

古語(ずっと古い時代のことば)に、「徒ら」ということばがありました。「徒ら」は、動作などが何の役にもたたないとか、むだである、という意味です。このことばが、やがて、役にたたない行いを表すようになり、その行いにふくまれる悪ふざけや、人にめいわくをかける行いなどの意味にも、使われるようになったのです。室町時代の末ごろに生まれたことばである、といわれています。

### 「いたずら」がふくまれることば

いたずらが好きな子どもをさして、「いたずら小僧」とか「いたずら坊主」といい、よくいたずらをする年ごろを「いたずらざかり」、よくいたずらをする子を「いたずらっこ」などといいます。

また、書くべきではないところに文字や絵を書くことを、「いたずら書き」といいます。

(監修・田代 脩)

